

橋本孝治\* 中澤直彦\*\*  
 岡畑英成\* 石野義行\*\*  
 近藤清司\*

# ケーブルテレビにおける放送・通信サービス

Broadcasting Program and Broadband Service over Cable Television Access Network

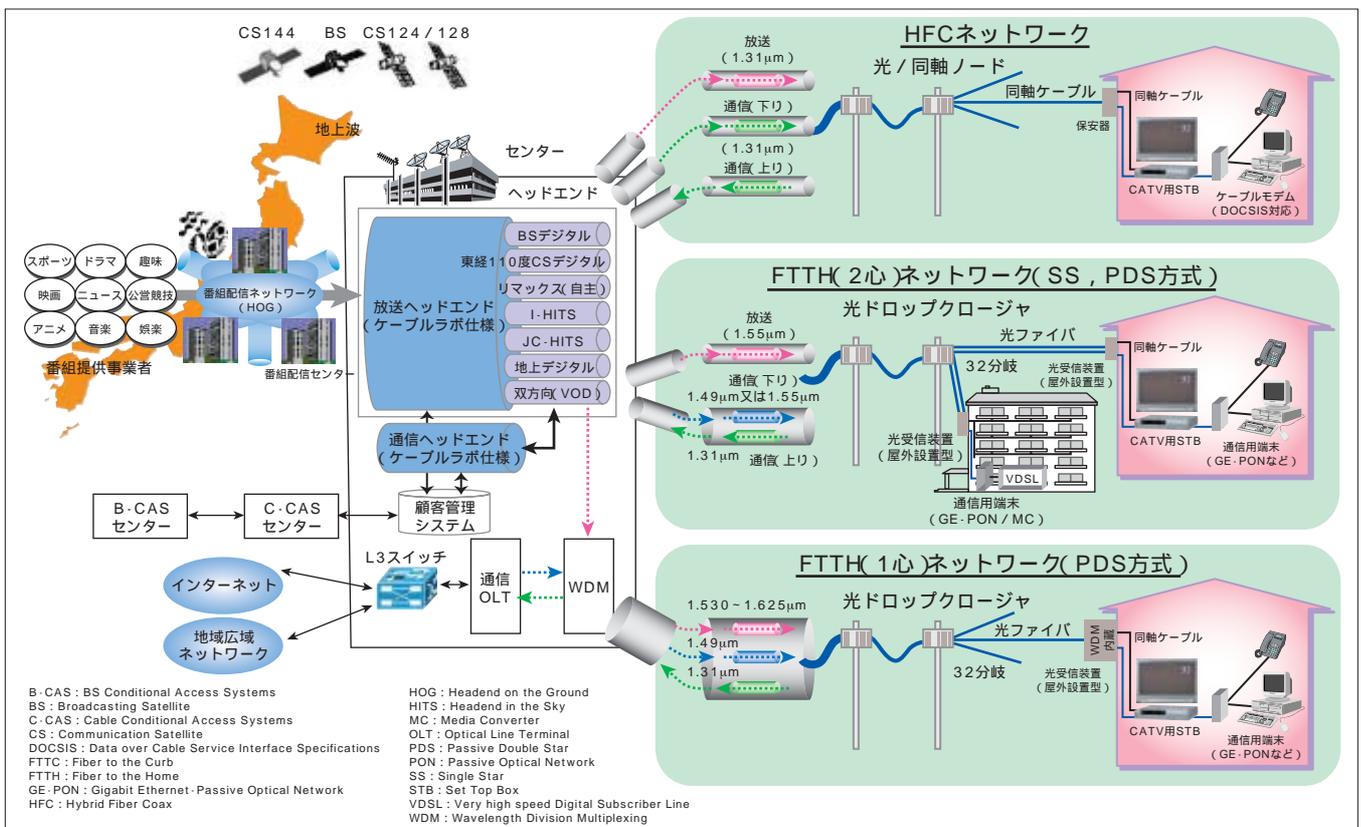
Koji Hashimoto, Hidenari Okahata, Kiyoshi Kondo, Norihiko Nakazawa, Yoshiyuki Ishino

## 要旨

ケーブルテレビ(CATV)は、テレビ難視聴対策及び電波障害対策から始まり、基幹放送・準基幹放送(BS・CS衛星)の再送信及び自主放送番組など多チャンネルサービスを提供してきた。普及に当たり、(社)日本ケーブルテレビ連盟内にある日本ケーブルラボで、ケーブルテレビ事業者の要求に基づいて、すべての放送メディアのデジタル化に対応した運用仕様を策定し、円滑にデジタル化を推進して、視聴者の利便性の向上を図っている。また、連盟の業界ビジョンでは広域ネットワーク構想による番組配信、地域番組情報の活用、VOD(Video on Demand)など新サービスを目指しており、アクセス系の広帯域化が進むと予測される。さらに、政府は、世界最先端のICT(Information and Communication Technology)国家を目指し、u-Japan

政策(2006年~2010年)を推進している。その中で、ネットワークの高速化又は超高速化を目指しており、ケーブルテレビは、HFC・FTTC・FTTHなどネットワークの高度化が進むものと想定される。

本稿では、FTTH型ケーブルテレビにおける伝送方式を中心に、特に有線テレビ放送方式に準拠した放送信号品質と通信信号品質を確保するための光レベル設計、三菱電機の納入事例における特長及びサービスについて述べる。今後、ケーブルテレビインフラのネットワークが高度化されていく中で、当社は、システム構築、サービス提案など最適なソリューションを実現し、新サービスの普及促進に努める所存である。



## ケーブルテレビにおける放送・通信サービスの仕組み

ケーブルテレビにおける放送サービスは、番組提供事業者からの番組を含めてすべての放送メディアを、地上放送、衛星放送及び地上回線を經由してケーブルテレビ事業者が受信し、ケーブルテレビのデジタル伝送方式に準拠し、各家庭のCATV用STBで視聴する。通信サービスは、ケーブルテレビネットワーク形態に応じて、ケーブルモデム又はFTTH用端末で電話及びインターネットサービスなどを実現している。